

次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)

リゾーム型研究者人材育成による学際知ブルーミング

学生募集要項

2025年4月入学予定者 ・ 2025年10月入学予定者対象

大阪公立大学
博士人材育成支援室

2025年1月

1. 事業の目的

本学は、博士後期課程の学生を対象とした文部科学省および国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「次世代研究者挑戦的プログラム」（SPRING）に採択されました。

本学では、それぞれの研究の深化・発展の場としての博士後期課程を、他の領域・分野の専門知を積極的に吸収し、多様な専門知を有機的に結合して社会課題の解決や先導的研究領域の創成、未来の社会像を抽出してそれを具現化する能力を養成する「総合知養成の場」へと発展させることを目的として、「リゾーム型研究者人材育成」を掲げてきました。

これをさらに展開して、本学が地域中核・特色ある研究大学強化促進事業で掲げる「マルチスケールシンクタンク機能を備えた成熟都市創造拠点の構築」に貢献し得る人材を持続的に輩出することを目的として、視野の広いリゾーム型の研究者を目指す優秀な博士学生を支援します。

2. 申請資格

1) 2025年4月入学予定者として、大阪公立大学大学院博士後期課程（3年制）もしくは博士課程（4年制）の研究科に出願中であり、標準修業年限内（長期履修生の場合は認められた期間内）に学位を取得する意思のある者（申請前に、指導予定教員にご相談ください）。

2) 2025年10月入学予定者として、大阪公立大学大学院博士後期課程（3年制）もしくは博士課程（4年制）の研究科に出願中または出願予定であり、標準修業年限内（長期履修生の場合は認められた期間内）に学位を取得する意思のある者（申請前に、指導予定教員にご相談ください）。

※今回、本SPRING事業とBOOST事業を同時に申請することも可能です。審査に有利・不利になることはありません。

3. 支援内容

本SPRING事業に採用決定された学生に対しては、以下の支援を行います。

1) 研究奨励費（生活費相当額）：年間210万円

（雑所得として扱われるので、所得税、住民税の課税対象。確定申告が必要。）

2) 研究費：年間10万円または20万円

3) キャリア開発・育成コンテンツ費：申請審査あり

海外留学（1～3ヶ月以上 支援期間中1回 上限150万円）、国際学会、インターンシップ、国内留学、自主プロジェクト活動、論文投稿（ジャーナル投稿料翻訳校閲料）、国内学会等

4. 支援期間・支援対象者

(1) 支援期間

- ・2025年4月入学予定者:2025年4月1日から標準修業年限まで
- ・2025年10月入学予定者:2025年10月1日から標準修業年限まで

(2) 支援対象者

・2025年4月入学予定者

本選考での選抜者であり、2025年4月1日時点で「2. 申請資格」に記載の課程に在籍し、休学をしていないこと。

・2025年10月入学予定者

本選考での選抜者であり、2025年10月1日時点で「2. 申請資格」に記載の課程に在籍し、休学をしていないこと。

※支援期間中に休学する場合は、その事由により支援打ち切りの可能性があります。また、本選考での選抜者であっても、支援開始時点で以下に該当する者は、支援対象外となります。

- ・独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（DC）に採択されている者
- ・国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生
- ・独立行政法人国際協力機構（JICA）により支援を受ける JICA 留学生
- ・本国からの奨学金等の支援を受ける留学生
- ・生活費に係る十分な水準（240万円／年）の奨学金を得ている者
- ・所属する大学や企業等から安定した十分な生活費相当額（240万円/年を基準とする）を受給していると認められる者
- ・次世代 AI 人材育成プログラム（BOOST）に採択されている者

【注意事項】

- ・本 SPRING 事業に選抜された学生は独立行政法人日本学生支援機構の特に優れた業績による奨学金の返還免除対象から外れることとなります。
- ・生活費相当額ではなく、研究費を支援する事業等であれば、博士後期課程学生が当該事業等の支援を受けていても本 SPRING 事業の支援対象となりますが、あらかじめ支援実施事業者の本 SPRING 事業との重複が可能か確認することが必要です。

5. 支援学生の責務

本 SPRING 事業の選抜学生には、人材育成の観点から一定の責務を課す予定です。

- ・ 副研究科等の副指導教員の選定
- ・ 研究倫理教育及びコンプライアンス教育の受講
- ・ 研究費、キャリア開発・育成コンテンツの実施計画（支援期間全体計画および年度毎経費計画）の立案
- ・ 半年ごとの研究進捗状況報告会にて、進捗状況の報告
- ・ 支援開始後の年度末（秋入学者は前期末）までに国内外留学の計画を立案、標準修学年限内に実施
- ・ 異分野研究交流会への参加（指導教員および副指導教員の参加は任意）
- ・ 年間2回のメンター相談の実施
- ・ 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（DC）への申請（応募資格がある者は必須）
- ・ 一定科目の履修
- ・ JST および本プログラムからのモニタリング調査・追跡調査への協力

申請にあたり、<https://www.omu.ac.jp/spring/>を参照して、プログラムの趣旨を十分に理解してください。

上記のような責務を遂行するためには、指導教員の理解が不可欠です。申請前に、必ず指導予定教員の了解を得てください。

6. 募集人員

2025年4月入学予定（2025年4月支援開始） 採用候補者30名程度

2025年10月入学予定（2025年10月支援開始） 採用候補者5名程度

7. 主な日程

1)申請期間:2025年1月17日(金)～2025年1月31日(金) 12:00 正午 締切

「申請フォーム入力、申請小論文アップロード、写真アップロード」の送信提出が必要となります。申請期間を過ぎたものは受理しません。

2)面接日時通知:2025年2月10日(月)まで

申請フォームに記載の電子メールアドレス宛に通知します。

3)面接実施期間:2025年2月12日(水)～3月7日(金) 9:00～17:30のうち指定する20分程度

4)内定者発表:2025年3月中を予定

内定者に申請フォームに記載の電子メールアドレス宛に通知します。

電話等による選考結果に関する照会には一切応じません。

8. 申請方法

1) 申請書の作成提出：<https://logoform.jp/f/RjpCV>

本 SPRING 事業の案内を掲載している [Web サイト](#)より、申請者情報を入力、SPRING 申請書（様式 1）、顔写真をアップロード、送信提出してください。

※申請書のフォーマットは日本語版と英語版のどちらを使用しても構いません。いずれかの提出をしてください。

※提出時のファイル名を「学籍番号_研究科名_氏名」としてください。申請時点で本学に所属していない場合は、学籍番号を省いて「出願研究科名_氏名」としてください。

※申請は記入項目が多いため、予想以上に時間がかかる場合があります。応募期間を過ぎないように、余裕を持ってご応募ください。また、応募期間中に複数回の入力（送信）はご遠慮ください。

2) 申請書の提出期限：2025年1月31日(金) 12:00(正午)

【注意事項】

- (1) 申請書類に不備のあるものは受理できないことがあります。
- (2) 申請時に提出された書類は返却しません。
- (3) 申請手続後は書類の変更は認めません。
- (4) 入力事項や提出書類の記載事項が事実と相違している事が明らかとなった場合には、本 SPRING 事業への参加資格を取り消す場合があります。
- (5) 申請にともなう個人情報とは、選考目的以外には使用しません。
- (6) 本選考に係る検定料は無料です。

9. 選考方法

1) 試験内容

試験科目	配点	概要等
書面審査 (書類)	100点	申請書(様式1)の項目に従って、作成すること。
口述審査 (面接)	100点	オンラインで実施します。冒頭7分程度で小論文の内容をプレゼンテーション(PowerPoint等使用可)、その後13分程度の質疑応答を行います。

2) 判定方法

小論文ならびに面接の採点結果に基づき評価します。

採点はルーブリック評価表の項目内容に沿って、実施されます。ルーブリック評価表は次頁を参照ください。

次世代研究者挑戦的研究事業 選抜用ルーブリック評価表

評価項目		評価外・評価不可	標準を大きく下回る	標準以下	標準	標準以上	標準を大きく上回る
		0点	1点	2点	3点	4点	5点
1	トランスファラブルスキルの重要性を理解し、身に付けようとする意欲がある。	まったくない。	あまりない。	理解しているが、具体性に欠ける。	よく理解し、説明できる。	よく理解し、具体的な計画を考えている。	よく理解し、具体的に活動している。
2	修了後のキャリアパスを意識し、社会でどのように活躍・貢献したいかを考えている。	まったくない。	あまりない。	考えてはいるが、具体性に欠ける。	考えており、説明できる。	考えており、具体的な計画を考えている。	考えており、具体的に活動している。
3	自身の研究以外の分野への関心と、それらを理解し取り込もうとする強い意欲がある。	まったくない。	あまりない。	あるが、具体性に欠ける。	強い意欲があり、説明できる。	強い意欲があり、具体的な計画を考えている。	強い意欲があり、具体的に活動している。
4	現在社会の課題解決・先導的研究領域の創出・未来社会の創出と自身の研究の関係が理解できている。	まったくない。	あまりない。	理解しているが、具体性に欠ける。	理解しており、説明できる。	理解しており、具体的な計画を考えている。	理解しており、具体的に活動している。

10. 面接日時および場所(オンライン)

- ・申請書類受理後、2025年2月12日(水)～3月7日(金)のいずれかの日時を指定します。
- ・上記期間内で、学会発表等の正当な理由により面接を受けることができない時間帯がある場合は、申請フォームの所定欄に理由を添えて面接を受けられない時間帯を明記してください。(後日、理由を証明する文書等の提出を求める場合があります)。ただし、これによって特定の時間帯以外での面接を確約するものではありません。
- ・面接の所要時間は最大約20分です。
- ・実施日時、ならびにZoomのURLは、2月10日(月)までに、申請フォームに記載の電子メールアドレス宛にお知らせします。当日16時30分までに連絡がなかった方は、必ず同日17時までに、「12. 問い合わせ先」に記載のメールアドレスまで連絡してください。

【注意事項】

- (1)自然災害等により、面接が予定通り実施できない場合、「緊急のお知らせ」をメールで配信しますので、確認してください。
- (2)面接当日の緊急連絡先は、「12. 問い合わせ先」と同じです。

11. 注意事項

本 SPRING 事業の選考の可否は、大学院入試とは関係ありません。入学前に本 SPRING 事業に合格されても、大学院入試は免除されません。また、本 SPRING 事業では、入学料・授業料の減免・補助は行いません。(入学料・授業料の減免・補助その他の本学で実施する経済支援制度については、それぞれの制度担当にお問い合わせください。)

12. 問い合わせ先

本 SPRING 事業申請について質問がある場合は、下記あてに問い合わせください。なお、問い合わせはメール受付のみとします。予めご了承ください。

大阪公立大学研究推進課 博士人材育成支援室

メール：gr-knky-2024dss@omu.ac.jp

SPRING 申請書 (様式 1)

(1)-1 自身の研究について、研究目的、研究方法、研究内容、研究の特色・独創性(先行研究等との比較、研究完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)を簡潔、かつ、わかりやすく記述してください。異分野の人が読んで理解できる表現で記述してください。(1200 文字程度) 図表を用いる場合は、最終ページ 1 枚以内でまとめてください。

(文字数:)

(1)-2 学位を取得するまでに、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記述してください。
(600 文字程度)

(文字数:)

(2) 自身の研究が、(1)社会課題の解決、(2)先導的研究領域の創生、(3)未来社会の創出 のいずれか、もしくは複数とどのように結びつくと考えているのか、具体的に記述してください。(600 文字程度)

(文字数:)

(3) 自身の研究分野以外のどのような分野に関心があるか、それを自身のキャリアにどのように役立てようとしているのかを、簡潔かつ具体的に記述してください。単に研究の効率や確度の向上の手段を問うているものではありません。異分野の研究の導入によって、自身のテーマをどのように拡張し、自身のキャリアにどのように生かそうと考えているのかについて記述してください。(500 文字程度)

(文字数:)

(4) 博士課程修了後の自身のキャリアパスに関する考えと、将来社会においてどのように活躍・貢献したいかについて記述してください。(500 文字程度)

(文字数:)

(5) (4)で記述した内容を実現するために、どのようなトランスファラブルスキルが必要と考えているか、および、それを獲得するための方法について、簡潔かつ具体的に記述してください。(500 文字程度)

(文字数:)

図表を用いる場合は、このページに貼り付けてください。図表番号やキャプションを付して、申請中の引用箇所が明らかになるようにしてください。1枚以内に分かりやすくレイアウトのうえ貼付してください。